

保幼小中一貫教育だより ～豊かな自然と豊かな人材で豊かなこどもを育てる～



# 豊能の風

発行：豊能町教育委員会 第97号 R5. 7. 19

## 豊能町立義務教育学校（令和8年開校予定）の校章デザインを大募集します！

令和8年4月、東・西地区に開校する「義務教育学校」の校章デザインを募集します。豊能町に在住・在勤・在学の方、豊能町にゆかりのある方（過去に住んでいた方・過去に勤務していた方など）で、年齢を問わず応募いただけます。校章デザインを応募する時には、住所・氏名・豊能町との関わり（在住・過去に住んでいたなど）・その校章デザインにした理由を記入していただきます。児童・生徒のみなさんには、学校を通じて応募用紙を配布し、校章デザインとそのデザインにした理由・学年と組・氏名を記入していただきます。みなさんの願いや思いの込められたすてきな校章デザインをお待ちしています。ぜひ、ご応募ください。

- 応募期間は、令和5年7月21日（金）～令和5年8月31日（木）です。
- 「校章募集の募集要項・応募用紙」は、「広報とよの（8月号）」で全戸配布します。また、町ホームページからダウンロードすることもできます。（掲載期間 7/21～8/31）  
【こちらから <https://www.town.toyono.osaka.jp/page/page006032.html>】

## 新標準服のサンプル 公民館展示の様子

「豊能の風 第94号」でお知らせしました義務教育学校の新標準服のサンプル3案の展示が、6月6日（火）から7月16日（日）まで行われました。西公民館に訪れた地域の方やご家族で来られた方も展示サンプルを近くで見ながら、「今頃の制服はおしゃれね。」「どれに投票する？」などと家族で相談したり、感想を述べ合ったりする様子が見られました。ある1日では約80人ほどの方が、標準服を見てくださいました。標準服の展示を通じて、豊能町の様々な年代の方が学校に関心を持たれるきっかけとなったかもしれません。



## 「とよの未来科」の取組み ～吉川小学校 国蝶・オオムラサキの放蝶～

6月29日（木）に吉川小学校の3、4年生が昨年11月から飼育してきた国蝶・オオムラサキの放蝶会が行われました。飼育に際しご指導いただいた小嶋さんが幼虫から蛹になり、成虫になるまでの過程について、写真を見せながら、児童に説明してくださいました。羽化した蝶が一体どのようなものを餌にしているのか、児童たちは興味深々でした。小嶋さんによると、水、カルピス、焼酎を混合した溶液を1週間発酵させたものに加え、バナナを3分の1にカットしたものを口にするそうです。飼育小屋では、バナナの代わりにメロンを与えていました。児童は「甘くておいしそうな食事だな」と感想を述べていました。昆虫の足は6本あるが、オオムラサキは4本しかないように見えました。小嶋さんの説明で、退化している足が2本あることを確認することができました。児童たちはしばらくオオムラサキに触れた後、放蝶する予定でしたが、思うように飛んでいかなかったため、ゲージに戻すことになりました。それでもオオムラサキと直接触れ合うことができ、児童たちはみんなとてもうれしそうでした。



## 「とよの未来科」の取組み ～東能勢小学校 特定外来生物「オオキンケイギク」の駆除から草木染まで～

6月20日（火）に東能勢小学校6年生が、特定外来生物に指定されているオオキンケイギクの駆除を行い、地域の環境保全に貢献しました。6年生は、理科の授業で特定外来生物について予め学習し、道端などに生えていた植物を見分けながら花やつぼみを次々に摘み取っていきました。植物だけでなく、道端に捨てられているゴミも拾い、環境美化にも一役買っていました。1、2年生の児童が花と茎の部分を染料にして草木染をし、秋の運動会の衣装などに使う予定です。

「とよの未来科」は、「とよの」を学ぶことを通して、自分の生き方について考えたり、豊能町の未来について考えたりする学習です。豊能町の「豊かな自然」と「豊かな人材」を活かした、豊能町だからこそできる、豊能町ならではの学習となります。本町のめざす子ども像「豊能町に誇りを持ち、自信をもって、社会を生き抜く子ども」の実現に向けた、取組みを進めていきます。

